

2023.07.30.なぜ私たちの人生に多くの問題があるのか

第一ヨハネ 3章4節から9節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。主よ、再び、私たちはあなたを信じ待ち続けます。主よ、この幕屋（体）を脱ぎ捨て、家に帰りたい気持ちでいっぱいです。あなたが私たちを祝福下さっている全ての恵みを感謝します。今日、あなたの御言葉が伝えられるとき、空しく帰されないよう祈ります。私たちはあなたを愛しています。私たちはあなたを讃えます。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。オンラインでご参加の皆さんも歓迎します。

ご参加くださりとても嬉しいです。始める前にお知らせです。今週火曜日、午後7時、ここ礼拝堂で祈り会があります。始める前にお知らせです。今週火曜日、午後7時、ここ礼拝堂で祈り会があります。是非いらっしゃって、一緒に祈ってくださいますように。ここ礼拝堂で、午後7時から8時半です。それが今週の火曜日です。是非いらっしゃって、一緒に祈ってくださいますように。ここ礼拝堂で、午後7時から8時半です。それが今週の火曜日です。で、現在「第一ヨハネの手紙」3章です。先週、「第一ヨハネの手紙」のこの章を始めました。その続きです。今日の箇所は4節から9節です。で、現在「第一ヨハネの手紙」3章です。先週、「第一ヨハネの手紙」のこの章を始めました。その続きです。今日の箇所は4節から9節です。で、現在「第一ヨハネの手紙」3章です。先週、「第一ヨハネの手紙」のこの章を始めました。その続きです。今日の箇所は4節から9節です。快適にご着席のところ、再度ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が朗読するのについてきてください。4節から、使徒ヨハネは、聖霊によって続けて書いてます。

—1ヨハネ 3：4—

罪を犯している者はみな、律法に違反しています。罪とは律法に違反することです。

—1ヨハネ 3：5—

あなたがたが知っているとおりに、キリストは罪を取り除くために現れたのであり、この方のうちに罪はありません。

6節、正確には7節、それから8節、9節も皆さんを混乱させたくありません。—（笑）— 6節、

—1ヨハネ 3：6—

キリストにとどまる者はだれも、罪を犯しません。罪を犯す者はだれも、キリストを見たこともなく、知ってもいません。

—1ヨハネ 3：7—

幼子たち、だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しい方であるように、正しい人です。

—1ヨハネ 3：8—

罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。その悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れました。

—1ヨハネ 3：9—

神から生まれた者はだれも、罪を犯しません。神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。

祈りましょう。天のお父様、今朝、私たちはあなたの御前で姿勢を正します。謙虚に、明らかに、あな

たの聖霊に切に願います。今日、私たちの前にあるこの箇所に対して理解の目を開いて下さいますように。ここには理由があります。その理由が何かを知りたいのでここにいます。私たちに語られたいことは何ですか？ 今日、私たちの前の御言葉のこの箇所を通して、あなたが私たちに示されたいことは何ですか？ ですから、主よ、あなたしかおできになれないように、いつもご忠実であられるように、何よりもまず、あなたの御言葉を聞き、理解し、御言葉に心に留めることから私たちが邪魔する雑念を遠ざけてください。私たちの思いは迷いやすいからです。もちろん、敵は本当に私たちを集中させたく、理解させたくありません。特に、この箇所にその理由があるからです。ですから、そういう理由でお願いします。聖霊によって、私たちの注意を引きつけ、いったん注意を引きつけられたら、私たちの注意を保ってください。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。では、今日話したいのは、「なぜ私たちの人生に多くの問題があるのか」皆さん、問題がありますか？ — (笑) — 何が問題ですか？ — (笑) —

なぜ私たちの人生には多くの問題があるのか？ その答えは一言で：「罪」です。

本当にそれについて考えると、私たちの人生で全ての問題の根源は、その核にある罪です。罪が、私たちの人生における間違いの理由の全てです。そう、私たちの人生におけるすべての問題は、実際には単なる症状です。実際、それらは問題ではありません。

例：頭痛です。それは症状です。頭痛を引き起こしている問題は何か？ 何か深刻なことかもしれません。では、どうすればいいか？ 私たちが市販の鎮痛剤を手に入れると、その瓶には：「一時的な緩和」と書かれています。一時的？ 永久的な緩和が欲しい。永久的な緩和の薬はありますか？ いいえ、これは...待って。一時的緩和：一時的に何をするつもり？ 的、的な.... 言うのは簡単ですけどね。何が一時的に和らぐのか？ おお、あなたの症状です。症状を引き起こしている問題は解決できません。症状を引き起こしている問題が何であれ、それによって引き起こされる症状を一時的に緩和するだけです。もう一回言えるかどうかかわからないので、分かって下さったのを願います。ここで何を説明しようとしているか、どこに話が向かっているか分かりますか？ 今、あなたの人生で起きているあらゆる問題は、実は問題ではありません。それは罪の問題の症状で、それが根源/原因だからです。あなたの人生で間違っているすべての層をはがせば、、あなたのご主人や奥さんを見ないでください。あなたの人生で間違っているすべては、この罪の問題の症状にすぎません。オズワルド・チェンバースだったと思いますが、きっと私はそれを台無しにしてしまうでしょうけど、最善を尽くします。

「物事が間違っている理由は、世が間違っているからです。」

つまり、私たちは墮落した世に住んでいます。それがすべてが間違っている理由です。この世のすべての間違いは、罪がこの世に入ったからです。罪が、この世で間違いになる全てを引き起こしています。これより先に進む前に、言わば、この土台を確立したいのです。問題は罪です。実際、補足しましょう。私はこれを完全に盗用しました。とてもカッコいい引用です。私は盗用します。私のものではありません。完全開示です。3年前、人種問題全体がブラック・ライブズ・マター（黒人の命が問題）で盛り上がっていた頃を覚えていますか？ 実際、手柄は手柄として取ります。この言葉を思いついたので。

「永遠の命が問題」そう、それは私のものです。私がいただきます。でも、これは盗用です。(苦笑)

「それは肌/skin の問題ではない。罪/sin の問題だ。」それは私が盗用しましたからね。本当にかっこいいでしょ？ 盗用しなかったものよりも実はいいんです。まあ、何でも良いです。でも、そうでしょう？ 私は先に進みたいですが、間違いの全ての核は罪だというこの土台を私たちは築いていると確信

したいのです。よろしいですか？ OK。

では「イエス」に入ります。イエスは、私たちを罪から救うため私たちの救い主として来られました。そうされることで、罪の問題を、永遠の全てのためきっぱり解決して下さいました。それは罪の問題です。イエスはその理由のために来られました。以下は、イエスが私たちの罪の問題を解決する4つの具体的な方法です。私たち全員にとって大きな励みになるはずです。それが、私たちの前にある箇所を明白な説明になるのを望みます。一読すると、ヨハネが繰り返しこう言っているように読めるからです。

「あなたが本当に主を知れば、あなたは罪を犯さなくなる。」 おお、私はまだ罪を犯します。私たちはそれははっきりさせるつもりです。私たちが今から見ていくのは、イエスがこれをされたということだけでなく、イエスは、どのようにこれをされたのか。またきつともっと大切なのは、なぜイエスがこれをされたのかです。私の希望と祈りは、いつも通り、特に今日は、私を含め、私たち全員の問題だからで、私たちの問題の全てを再検討し、この聖書のレンズの真理を通してそれらを見ます。何が本当の問題なのか、明確な焦点が定まると、今や、取り組めるようになるからです。そこでイエスの登場です。それが私たちの聖書に今日の箇所がある理由です。まず1つ目の4-5節から始めましょう。

「イエスは私たちの全ての罪を取り除くために来られた」イエスは私たちの罪を取り除かれることで、私たちの罪の問題を解決して下さいます。イエスは私たちの罪を取り除かれることで、私たちの罪の問題を解決して下さいます。この3つの方法を通して、私と一緒によく考えていただきたいのです。イエスが罪を取り除く1つ目の方法は、「罪の罰則を取り除くこと」イエスが罰則を支払われました。罰則は何か？ 死の罰則です。つまりイエスは、罪の罰則を支払うことによって、罪の問題を解決されました。

2つ目の方法。本当に必要な時間が要ります。これは毎回、悪魔が私たちを捕らえるところだからです。イエスが、私たちの罪を取り除くために来られた2つ目の方法は、「罪の力によって。」ですから、イエスは罰則を支払われました。でも、罪の力も取り除かれました。どういう意味ですか？ 罪の力が持つことは、罪悪感で私たちを押し潰すことです。罪の力が持つことは、私たちを非難し続け、支配し続け、征服し続けることです。これは「ローマ人への手紙6章14節」で、おお～、どんなによいでしょう、、、クリスチャン人生で、もっと早くこの聖句を理解していたら。この聖句が、私の前に開かれたとき、すべてが変わったからです。私が言及する箇所は、、、これは言い換えですけど、基本的にこうです。パウロは、聖霊によって書きます。

「罪があなた方を支配することはないからです。」(ローマ6：14前半)

おお、ちょっと待って。その意味は何ですか？ それは、もはや罪を犯すことや罪の誘惑が私を支配し、私を征服するという意味にはなり得ない。というのは、それなら、誘惑されることが罪だという意味になるからです。イエスは誘惑されましたが、罪はあられません。ですから、それはうまくいきません。

(誘惑されるのは罪ではありません)それは合っていません。罪は、もはや私に力を持たないとはどういう意味ですか？ もはや私を支配せず、征服しません。影響を及ぼさず、支配しません。おお、罪の意識に支配されることはもはやありません。説明させて下さい。お付き合い下さい。これはライフチェンジャー/人生を変える ではなく、ゲームチェンジャー/一変する ではなく、ライフチェンジャー/人生を変える です。その仕組みはこうです。OK。私たちはまだ罪を犯しますね？ なぜ私は尋ねたのでしょうか？ 修辭的だったのに。ー(笑)ー 全員の手が挙がるはずでした。でも、そうなりませんでしたが、大丈夫です。ですから、私たちは罪を犯します。敵はそこにおいて、私たちを非難します。罪悪

感に苛まれます。罪悪感と伴って来るのは、、、それはもはや私たちを支配することはありません。なぜなら、

「こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者が罪に定められる（非難される）ことは決してありません。」（ローマ8：1）

しかし、敵があなたにさせたいのは、、、そんな急がずに。で、あなたは罪を犯します。ここに罪悪感がやって来ます。罪悪感は何を引き連れているのか？ 非難です。その非難の支配です。罪の罪悪感から、あなたの人生に非難という基盤を築き始めます。最終結果は何か？ それがあなたを主から遠ざけます。それがまさにサタンがしたいことです。それが非難がすることです。非難は、私をイエスから遠ざけます。確信（罪の示し）は、私をイエスに近づけます。しかし、そうサタンは、私たちを聖霊の確信の下に入らせたくありません。サタンは私たちを、罪悪感の支配の下に来させたいんです。サタンは、私たちをイエスと、イエスとその罪を完全に贖われた十字架から遠ざけられる限り、私たちを捕らえます。そして彼はさらに前進し続けられます。今や突然、私は奴隷になりました。今、私は押しつぶされそうな支配の下にあり、この罪悪感が私の主人だからです。それが、パウロがここで話すことです。

イエスはそれを取り除くために来られました。イエスは罰則を取り除き、それを支払われました。イエスが罪の力を取り除かれました。

「罪はもはやあなたを非難する力がありません。わたしが支払ったからです。もう非難されることはありません。」

ですから、サタンがやってきて、あなたを罪の非難と罪悪感と羞恥心で押しつぶそうとするとき...聖化された恥は何も間違っていない。しかし、判断基準は、結局のところ、これが私をイエスに近づけるのか？ 私をイエスから遠ざけるのか？ それが確信なのか、非難なのかがわかる方法です。それは良いことになり得ます。悪いと感じることは良いことになり得ます。それが確信だからです。それが聖霊の確信です。あなたを非難しません。あなたは非難されません。非難は、もはや以前のようにあなたを支配する力がありません。イエスがその力を取り除いてくださったからです。罪は、もはやあなたの人生でその力がありません。あなたはキリストのうちにいるからです。ですから、次にサタンが来て、あなたを非難しようとするなら、非常に適切だと思います。サタンはとても聖書を引用するのが巧いです。聖句の誤引用と言うべきでしょう。どうやってイエスは荒野でサタンに誘惑されたとき神性ではなく、人性で敵を打ち負かされましたか？ 御霊の剣、神の御言葉です。「こう書いてある。」 「こう書いてある。」 「こう書いてある。」

ところで、面白い余談です：イエスは3回とも「申命記」から引用されました。「こう書いてある。」サタンは知るべきです。それはイエスの御言葉ですよ。イエスは覚えておられます。やり過ぎです？ いいえ、それは御霊の剣で、私たちに与えられた霊的武具の中で唯一の攻撃的武器です。私たちの武器は肉のものではありません。私たちは肉のエネルギーで、肉的な武器でこの霊的な戦いを戦っています。私たちは決して勝てません。必ず負けます。ですから、サタンが来て：「非難だ、非難だ。」わかりますね。それが何かわかりますね。また自分のことを話します。私は、、、私がいつも皆さんのためにどう犠牲になるかわかりますね？ 私にやって来て：「JD、ほーほー！（彼は地元だからです。）どうやって、そんなことができるの？ ほー！ あなたは牧師だろ？」おお～。

「わお、私には分からんね。これはどうだろうね。」非難、非難、非難。私の答えは、、、私は偉大な信仰の人、神の人、御言葉の人。私の答えは、「わかっています。私はひどく失敗した。わかっています。

す！」罪悪感！罪悪感！罪悪感！罪悪感！ 非難！非難！非難！非難！

「今週は、その御言葉を教えることすらできない。私は偽善者だ！」「違う。こう書いてある。サタンよ。

ローマ人への手紙 8 章 1 節だ。

ーローマ 8：1ー

こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

私はキリストにある者だ。私の前から消えろ。」会衆：アーメン！

悪魔に抵抗しなさい。そうすれば、悪魔は逃げ去ります。(ヤコブ 4:7)

悪魔はそうならざるを得ません。いずれにせよ、彼がここに留まりたいと考えていると思いますか？ サタンはすでに自分が敗北した敵だと知っています。サタンはただ、自分が敗北した敵だとあなたに知られたくないだけです。私たちは勝利のために戦っているのではなく、勝利から戦っているのです。私たちはすでに勝利しています。私たちはすでに勝利者以上です。私はそれ好きです。「私は勝利者だ。」

「本当に？」「まあ、私は圧倒的勝利者だ。」ー(笑)ー 勝利者以上です。私はすでに勝利者です。イエスがすでに対処してくださいました。非難はありません。私はあなたが何について語っているのかわかりません。「こう書いてある。」からです。「うん、あれはかなり酷いね。」「こう書いてある。」

「うん、でもまだ、どうなのかわからないね。」「こう書いてある。」OK。もう十分ですね。ええ、そう、私の世界によろこそ。「わお、牧師さん、あなたを知れば知るほど、それがよくわかります。」

あなたは私になりたくないでしょうね。信じて下さい。つまり、それは本当に、、、私はこれを第一礼拝で言いました。もう一度言う価値があると思います。私たちはこれを見逃しているので、注意する必要があります。「エペソ人への手紙 6 章」でパウロが語ります。「私たちの格闘は、それは戦いではありません。格闘/レスリングをされる方、女性じゃなくて、その話にはいきたくありませんけど、学校でレスリングしたことがあって、実際に高校の時にレスリングしてみました。私は、、、正確には中学生でした。うーん、1 分半くらいだったと思います。押さえ込まれました。この分野に私はあまり興味がありません。なぜこのスポーツなのかわかりません。自分には向いていないと思います。私は疲れ果てました。回復するのに何週間もかかりました。リングに上がってから 1 分半で押さえつけられました。なぜその御言葉が「格闘/レスリング」だと思いますか？ そう、「戦い」はより曖昧で一般的だからです。

「格闘/レスリング」と言えば、その全体的な様相を変えます。「格闘/レスリング」は肉体のあらゆる面に関わるからです。それは霊的にも、霊の領域におけるあらゆる側面に関与します。あなたは格闘/レスリングをしている。「聖書預言・アップデート」でヤコブについて話しました。強い意志についてです。彼は一晩中、主と格闘します。あれはベツレヘムで誕生する前のイエス・キリストのご臨在です。私なら続かなかったでしょう。それは厳しいです。それは強い意志です。それが彼の名前、ヤコブです。かかとを掴む者、強い意志、決断力。「主よ、祝福して下さい。」「わたしはあなたを砕くまでは、あなたを祝福できません。」(主が)腰に触れられ、比喩的にも文字通りの意味でも、彼の一生の歩き方を変えられます。

「ヤコブよ、わたしはあなたを祝福したいのです。しかし、わたしはあなたを砕くまで祝福できません。あなたは強すぎるからです。」そして、主は彼を砕き、祝福されました。

「あなたの名は、もはやヤコブではない。あなたの名前はイスラエルだ。」

イスラエルの意味はご存知ですか？ 神に支配され、神に統治される。そう、あなたは自己統治してい

て、自分で治めている。わたしはそれを砕かねばならない。私はどこに話が向かっていくのかわかりません。－（笑）－

すでに進行中の説教に戻りましょう。イエスが私たちの罪を取り除かれた 3 つ目の方法です。それは、患難前携挙で主が来臨される時で、その時、イエスは、私たちの罪を永遠に取り除く御業を完了されます。あなたがたの間で良い働きを始められた方は、（キリスト・イエスの日が来るまでに）それを完成させてくださる...（ピリピ 1：6 参照）それが、この罪の問題が終わる時です。それがあなたの問題がすべて解決する時です。それが、主が私たちを連れ去り、引き上げられる時です。どうかわかりませんが、、、、少しお聞きください。これは私の助けになったので、きっと皆さんの役に立つかもしれません。神の御言葉と約束について黙想する時間を持つことは、私たち全員にとって良いことだと思います。永遠と栄光が待ちうけることに黙想する時、パウロが言ったのは、口にしようとする事さえ犯罪で、この世の苦しみは、その先に待つ栄光と比べるに値しません。つまり、ほんの一例ですが、もう再び疲れることがないんだと考え始めると、それがどんなに励みになるでしょう。おお今は、本当に心に響きましたね。－（笑）－ なぜ疲れているかわかりますか？ 罪のせいです。それが問題です。疲れは罪の問題の症状です。そうでしょ？ でも、新しい体を手に入れます。もう二度と疲れることはありません。それだけでも。それだけでも。それは私に希望を与えてくれます。このリストはいくらでも書き連ねることができます。とても健康的です。「ピリピ人への手紙 4 章」で、パウロがこう書きます。

「すべてのこと...そのようなことに心を留めなさい。」（ピリピ 4：8 参照）

「箴言」ではこう言われます。「彼は、心のうちでは勘定ずくだから。」（箴言 23：7 参照）

これらのことを考えて下さい。純粹で良い報告を。その先に待つ栄光についてを考え始める時、今ある問題がとても小さく見えます。でも、私たち、それはしないでしょ？ 再度、自分に話しています。皆さんは私よりも霊的ですから。でも、そう、私はその逆をします。私は自分の問題について考えます。自分の問題について考えれば考えるほど、これにお気づきですか？ 問題は大きくなるんです。それらが大きくなるだけでなく、私の神が小さくなります。でも、私の神について考え始めるとき、私の神はもっと大きく、私の問題は小さくなります。私は克服できません。何度福音書で、イエスが仰った所、決して軽蔑口調のイエスは想像しないでください。

「おお、信仰の薄い者よ。」（マタイ 6:30 他）

私は主の姿を思い浮かべるだけで、主が優しく愛に満ちた御声でこう言われるのを聞くことさえできます。ちょっと自由に言うのをお許しいただきたいのですが、でも、こんな感じで、「おい、一体どうしたの？ あなたの神はとても大きいのに、なぜあなたの信仰はそんなに小さいのですか？ どうしたんですか？ 何が問題ですか？」「私には多くの問題があります。」「わかっています。それは罪の問題です。それを解決するために来ました。あなたの神はとても大きいのに、なぜあなたの信仰はそんなに小さいのですか？」おお、待ちきれません！

神のラッパの響きとともに、そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、（1テサロニケ 4：16 参照）

私たちは新しい体を手に入るのです。それを考えますか？ 第一礼拝で話しました。私は注文を出しました。聖書的でないことは分かりますが、私はしました。私はそう、私の栄光の体は、永遠に髪の毛があって、肩幅が、、、、今回は肩幅をお願いできますか？ とにかく、これ、、、、情報が多すぎますね。でも、、、、それだけでも。私の新しい体は、、、、想像してみてください。想像もつかない。計り知れなく、理解

し難い。私は永遠に生きる体を与えられます。永遠ってどれくらいかわかりますか？ つまり、わお〜！「イエスが来られて私のためにそうなさるのですか？」そうです。皆さん、ラッパの響きとともに、、、ある人がこう言ったのが気に入っています。「私の人生には携挙が解決できない問題はない。」つまり、請求書はもうない。－（笑）－ 税金はもうない。ゴキブリはもういない。天国にはゴキブリはいないと確信します。－（笑）－

では、先に進みましょう。2つ目は、6節です。「イエスは罪の生活習慣を取り除かれた」今、これは私たちが本当に集中せねばならないところです。一度救われたら、二度と罪を犯すことはないと言ハネが言っていると思わないように。さっと言っておきますが、それは不可能です。ヨハネがこう言うのを私たちは聞いたばかりだからです。罪を犯さないと言うなら、あなたは嘘つきです。嘘をついています。(I ヨハネ 1:10 参照) ヨハネが言ったことも、ちょうどそんな感じですよ。－（笑）－ ですから、それは不可能です。ヨハネが言っているのはそうじゃありません。それが彼の言っていることだとしたら、彼が今、言ったことと正反対になるからです。ですから、一度救われたら罪を犯さなくなることはあり得ません。挙手を求めるべきかもしれませんね。罪のない人はいますか？ よろしい。どうか挙手しないでください。礼拝の後、あなたに按手せねばなりません。あなたが思っているようなことではありません。OK。ですから、それが、ヨハネが言っていないことで、ヨハネが言っていることを教えていただけますか？ はい、ヨハネは私たちが罪の生活習慣にもはや生きないと言っています。なぜ？ イエスがそれを取り除かれたからです。代わりに、イエスは私たちに新しいいのちを与えられ、新しいいのちと共に新しい生活習慣をくださいます。ですから、もはや私は罪を犯したり、罪の生活習慣を送りません。いえ、イエスはそれを取り除かれ、新しいいのちに置き換えられました。

新生：聖霊が今や私に内在される。

それについてこれから話します。私がもう罪を犯さないように、主が罪を取り除かれるのではありません。違います。主はその生活習慣、古い人生、古い人を取り除かれます。古い生活習慣、罪の生活習慣が消え去り、取り除かれ、その生活習慣を置き換えられます。この真理を理解する最善の方法がここにあります。私がそれを見て、このように言う理由は、これが私の理解方法だからです。キリストにある私たちの新しい人生は、罪がなくなることを意味しません。私たちは、罪が少なくなるという意味です。言葉遊びのように聞こえるのは重々承知ですが、違います。そう、今や私はキリストのうちにおり、イエスが私のうちにおられるからです。主が古い生活、古い生活習慣を取り除かれました。だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(II コリント 5:17 参照)

昔の生活習慣はもう望みません。ですから、今は、罪を犯すような生き方はしません。私は罪を行いません。私はまだ罪を犯しますが、罪はどんどん少なくなっています。時が経つにつれて。私は恵みにおいて成長し、キリストによって成熟します。さらに良くなります。罪の生活習慣を取り除かれるだけでなく、「義の生活習慣に置き換えてくださる」これが(3つ目)7節です。ここでヨハネは具体的に提案します。この方法によって迷わされるクリスチャンの罪の生活習慣に関する問題について、ここでヨハネは具体的に提案します。この方法によって迷わされるクリスチャンの罪の生活習慣に関する問題について、義の生活習慣とは対照的です。これがグノーシス主義です。私たちは前に言及しましたから、それについて時間を割きません。しかし、基本的にはヨハネの時代に彼らがしていたことです。ちなみに、こんにちも健在で、包み直されているだけです。罪を保護するため、以前呼んでいた名称が変更さ

れています。そう、これは大変欺瞞的です。「そうそう、そうだね、罪は犯せる。その後、神に許しを請えばいいだけだ。」それも違う方法で包装されています。いろいろな呼び名で知られていて、1 つは、「それは大したことではない。」「いや、ちょっとしたことだ。」「ああ、これは私の人生でほんの小さな領域だ。大したことじゃない。」「おお、本当？ だから、それを正当化するのですか？」「そうだ。」「おお、誰がそれを言うのですか？ 今や、私たちはそれ自体をもう罪とは呼ばないから。」なぜ敵は私たちをその方法で迷わせるのか？ そう、それを罪と呼ばなければ、神の恵みと赦しの範囲から私たちが外れることになります。イエスは失態、失敗や過ちを赦すために来られたのではありません。「そうだ、ちょっとやらかしただけだ。おお、ほんの出来事だ。」「おお、それは面白い。イエスは私たちすべての出来事を赦すために来られた。出来事は、とても口当たりがよく、円満に聞こえ、何が問題なの？」「違います。それは罪です。」「それはほんの出来事です。」「違います。それをそのまま呼んでください。」罪を罪と呼ばないのなら、それはあなた自身の危険を招くからです。罪を罪と呼ぶなら、イエスがそれを解決してくださるからです。主は罪のために罰則を支払われただけでなく、その罪悪感の力を取り除き、最終的には携挙によって、それをきっぱりと取り去られます。同時に、主は私たちから罪の生活習慣を取り除かれました。あなたがそれを覚えて罪以外の何か他で呼びたいなら、どんな効果がありますか？」そのまま呼んでください。そう、私たちが罪を罪、無法、不義と呼ばないなら、キリストの転嫁された義どころじゃありません。それは記述の表現で、キリストの転嫁された義です。イザヤが言うように、私たち自身の義は、ヘブライ語原語では、かなり生々しいですが、適切だとは思いませんが、「不潔な衣」と書いてあります。実は生理用の布のことです。それが私たち自身の義です。それは私たちの義ではなく、私たちの新しいのちと生活習慣を伴う、キリストの転嫁された義です。これをわかって下さい。私たちは聖霊によって、聖なる人生を生きる力を与えられ、可能にされます。点と点がつながりましたか？ 聖なる生活=聖霊 わお！ 神聖さについて語る時、これはまた別のことでですけど、私もこの胸の内を明かさねばならないからです。「おお、あなたはとても清くて神聖だ。」それって悪いことですか？ そうですね、私たちは悲しくも、「神聖」や「義」という言葉が持つ力強い意味を忘れます。神聖(holy ホーリー)の意味をご存知ですか？ 全て一体(whole ホール)という意味です。半分でも、3分の1でも、4分の1でも、ほんの一部でもありません。違います。私は全て/満たされます。主は私を聖なる者にされました。主は私を満たされました。今、私は全て/満たされます。以前、私は全てではなく/満たされていませんでした。主が私を全て/満たされました。主が私を聖なる者にされました。

「神が聖であられるように、聖なる者になりなさい。」(1ペテロ1:16参照)

どのように聖なる者になるのか？ おお、聞いてくださり嬉しいです。あなたを聖なる者とするために、わたしは聖霊を与えました。聖霊の御力です。これはまた別の話ですけど、今日は問題が多くて、胸のつかえを取らないといけません。それらはすべて罪のせいです。これもまた、本当に心が痛みます。これは、特に最近、私が主に尋ねていることですが、聖霊を悲しませるようなことがあるからです。聖霊を消してしまうことがあります。許されざる罪とは何かご存知ですか？ 聖霊を冒瀆することです。では、あなたがこう心配し始める前に、「ひ～私は許されざる罪を犯したのか？」聖霊を冒瀆して許されざる罪を犯すことをあなたが心配するという事実によってです。あなたは聖霊を冒瀆していないと断言できます。もしそうなら、基本的にイエス・キリストを拒否しているからです。あなたがここにいるという事実だけで、聖霊への冒瀆という許されざる罪を犯していない可能性はかなり高いです。

少し話を戻しましょう。聖霊を悲しませるとはどうなのか？ さらに悪いことに、聖霊を消してしまうことは？ あえて言えば、聖霊の賜物とは？ おお、それについての言い回しがあります。偽の教で、地獄から来てますよ。それは終焉説（カリスマ終焉論）と呼ばれます。それが何かわかりますか？

御霊の賜物が終焉したというものです。私はここで我慢できますけどしません。私はここで我慢できますけど、聖霊の賜物が、こんにちの教会にはないと信じている有名な大物を挙げることができます。言いますが、少し懸念します。それは少なくとも、最低でも、あなたが聖霊を悲しませることになるからです。それは聖霊を消そうとするあまりにも危険な行為だとさえ言えます。聖霊は火で、火の異言です。あなたが終焉論者であれば、水をかけて、聖霊の火を消しています。私はあなたの近くにいたくありません。聖霊を悲しませるのはどうか？ いいですか？ 今日はこのことであなたを混乱させましょう。私がそうするのは、これが私に開かれた時、良くも本当に混乱させられたからです。聖霊を悲しませる時、どうなるか分かりますか？ このように考えて下さい。聖霊はあなたの内におられますね？ 私たちの体は聖霊の宮ですね？ その意味は聖霊は、あなたがテレビやネットで見るものすべてを見ておられます。そして、うずくまり、涙を流し、悲しんでおられます。あなたを混乱させると言いましたね。ごきげんよう。－（笑）－ それが聖霊を悲しませることです。理由は、私たちが行くところはどこでも、、、OK。ちょっと言い過ぎかも。今、あなたが誰かと交わした会話で、悪口や相手の人格を否定したり、言いがかりをつけたり、陰口を言うのはどうか？ 陰口が殺人や性的不道徳と一緒にリストになるレベルまで上がるのは、とても興味深いです。使徒パウロが聖霊によってこれらのことについて書いてます。つまり、分類 2 のようなものだと思うでしょう。性的不道徳や殺人、それは特級です！ 陰口はそれより下。違います。なぜかわかりますか？ ところで、なぜ「箴言」の中で忌まわしいこと、神が嫌うこと、7つ目の忌まわしいこと。それが何かわかりますか？ 兄弟たちの間に不和を広げることです。なぜだかわかりますか？ ルシファーが天の軍勢に不和を広めたことで、神御自身がその受ける側となられたからです。それが深刻な理由です。それがあのようなことと一緒にリストに含まれるレベルにまで高まった理由です。それが引き起こす被害。家庭で家族と一緒にいるようなものだと

考えて下さい。誰かがあなたの家に入り、不和を広げ始めるのを許しますか？ 私たちはいつもそれをしています。テレビをつけるたびに。私は誰かが私の家に来て、それを言ったり、見せたり、したりするのを許しません。聖霊は悲しまれ、ただ苦悶され、傷つかれています。私たちは神の聖霊を悲しませます。これが聖霊なる神ですよ。お気づきでしょうか？ イエスが去って行かれるとき、言われました。「わたしは去って行くが、あなたがたのうちに住む聖霊を遣わします。あなたはわたしと共にはいないが、あなたの内にわたしはいます。」聖霊の御方法によって、そのことを本当に考えるなら、その方がずっといい。私の内には聖霊なる神が住んでおられる。なんてかっこいいんでしょう。最後の 4 つ目。8 節 9 節です。

「イエスは、私たち全ての罪の源を破壊される」ヨハネがここで書くことの重要性を強調できるかどうか分かりません。イエスが全ての罪の源を滅ぼされたからです。どのように？ おお、お付き合い下さい。罪は、すべての問題の根源ですが、悪魔は、すべての罪の根源です。悪魔がすべての罪の根源であり、それがすべての問題の根源であるのは当然ではないですか？ 歯の根管治療について話したいですか？ －（笑）－ 失礼。もっといい例えがあれば教えてください。つまり、イエスは根源に迫られ、主はそれを根絶やしにされます。

「JD、あなたの問題は、すべての問題は罪の症状です。罪が核です。罪の核は悪魔です。それもわたしが引き受けました。わたしが彼を打ち負かしたからです。十字架にかけられた後、わたしが復活した時、それで終わったのです。完了。」

ですから、因みに私がペテロが大好きなのは、皆さんもそうだと思います。ペテロについてたくさん話しましたね。私たちは彼を知りました。彼の書簡を味わいました。私たちと一緒にイスラエルに行った人たちのために、しばらく、行っていませんけど、しかし、ピリポ・カイサリアという場所に行くと、イエスが、弟子たちを連れて行かれた非常に悪魔的な場所です。ハデス/黄泉の門は、文字通りそこにありました。そこが地獄の門と呼ぶ場所です。パン神が崇拜され、恐れられていて、英語の「パニック」の語源です。それで、イエスは彼らをその場所に連れて行くのですか？ 一体なぜ？ 主は、彼らをピリポ・カイサリアに連れて行かれました。つまり、本当に興味深い場所です。ここで主は彼らにこう質問されました。

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか？」(マタイ16:15参照) その答えはもちろん、「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エレミヤだと考える人たちもいます。」(マタイ16:14参照) とても興味深いことがわかります。なぜエレミヤだと考えたのか？ エレミヤがよく泣いたように、イエスもよく泣かれたからだと思います。彼らは、全て間違った答えを言い、最終的にはペテロに委ねます。正しい答えです。

「あなたは生ける神の子(キリスト)です。」(マタイ16:16参照)

イエスは、シモン・ペテロに向かって言われました。

「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことを明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父(聖霊)です。」

(マタイ16:17参照)

ペテロの姿が目には浮かびます。失礼。私はまた自由にやっていますけど、ペテロが他の弟子たちに振り向く姿が目には浮かびます。「主が私について言われたこと聞いたか？」— (笑) — 高ぶりが生まれると、必ず崩落が訪れます。その数節後、イエスはこう言われるからです。わたしは十字架にかけられます。わたしは引き渡され、十字架にかけられます。ただ知っておいてほしいのは、わたしは墓からよみがえります。(マタイ16:21参照)

わたしは死を打ち負かし、悪魔を打ち負かす。ペテロが話に飛び込んできて、基本的にこう言います。これはゆるい言い換えですが、「あなたに絶対にそれはさせません。」(直訳：私の屍を越えて行って下さい。) それに対してイエスは、ペテロに言われました。

「下がれ、サタン。」(マタイ16:23参照)

他の弟子たちは言います。「そうだね。君はそんな人じゃないね？ 主は君をサタンと呼ばれた！ はは！」わお、早まったね。ペテロのことをサタンだと言われたのではありません。主が言われたのは、「ペテロよ、それはサタンから来るものです。サタンはわたしを十字架に行かせたくないからです。」そう、私たちがそんなに後退し、曲解するのがなぜか分かりません。私たちは… 十字架と磔刑をあまりにも衛生的にってしまったからかもしれません。しかし、これは究極でした。

「木にかけられた者はみな、のろわれている。」(ガラテヤ3:13参照)

ところで、サタンは私たちの誰よりも聖書を知っています。サタンは人の子が引き上げられることを知っています。荒野でモーセが青銅の蛇を掲げたときのように。あなたがせねばならないことは、十字架

上の青銅の蛇を信じ、見上げることで、あなたは救われます。前兆です。ところで、イエスがこう言われたのは、聖書の中で最も有名でよく知られる「ヨハネの福音書 3 章 16 節」の直前だにご存知ですか？「ヨハネの福音書 3 章 16 節」の直前、イエスはモーセの青銅の竿の記述に言及されています。サタンはイエスを十字架にいかせたくなかったのです。サタンはイエスを死からよみがえらせさせたくなかったのです。旧約聖書に巻き戻せば、そこが全てのポイントだったからです。なぜ女の子孫（種）を絶滅させ、抹殺しようとしたのか？ サタンは、カインに憑依してアベルを殺させました。イエスは、アベルから生まれるだろうと考えていました。主は、アベルからではなく、セツの血統でした。

留意点：サタンはすべてを知っているわけではない。ですから、これが失敗その 1。

エジプトのファラオに早送り：ヘブル人の少年たちは全員ナイル川に投げ込まれ、確実に死なせました。救い主イエスの型のモーセは救われます。サタンは彼らを絶滅させようとしています。

「エステル記」に早送り：ハマーンという男。善人ではなく、友でもありません。ヘブル人全員を絶滅させ、抹殺するという不可逆的な勅令を王に出させます。それは、イエスの初臨を妨げようとするサタンです。世の救い主が女の子孫であるイスラエルを通して来られることを知っているからです。

続きます。新約聖書へ進みます：ヘロデ

王が、救い主が、私たちのもとにお生まれになりました。(ルカ 2:11)

(ヘロデ) おお、主がどこにおられるのか、私が主を礼拝しに行けるように教えなさい。

(マタイ 2:8 参照)

そうでしょうね。イエスの年齢に近いユダヤ人の男子を虐殺し、殺害させました。それが、神がヨセフにマリアと救い主をエジプトに連れて行かせた理由です。再度、サタンは失敗しました。しかし、サタンはそこで終わるつもりはありません。前世紀に戻りましょう。もうほとんど終わりですからね。希望を失わないでください。前世紀に戻って、ヒトラーについて話しましょう。悪魔に取り憑かれました。すべてのユダヤ人を絶滅させ、撲滅し、消滅させるため。すべて「滅」です。なぜ？ サタンは私たちより聖書を知っているからです。イスラエルがここになれば、イスラエルはメシア/救世主を求めることができません。

「彼らは自分たちが突き刺した方を仰ぎ見る」(ヨハネ 19:37、ゼカリヤ 12:10 参照)

サタンはイエスの初臨を阻止するのに失敗しました。今、イエスの再臨を阻止するために、7 年間の患難時代の間にもう一度、最後の試みをするつもりです。ちなみに、私たちはそのためにここにいません。

(ネタバレですよ！)「第一ヨハネの手紙」3 章 8 節から 9 節をすべて主はご存知だからです。人なるイエス・キリストによってサタンは打ち負かされました。彼は、問題の根源の根源の根源の悪魔自身です。サタンは敗北した敵です。この話で締めくくりたいと思います。もう少し詳しく説明したいのは、ご辛抱ください。パウロは、テモテにこう書くからです。

「主はあなたに臆病の霊を与えられていない。」(II テモテ 1:7 参照)

翻訳によっては、より正確にこう表現しているものもあります。「聖霊は恐れを与えられません。」それは悪魔から来ます。

「神は私たちに、臆病の霊ではなく、力（それが聖霊です）と愛（聖霊の実）と慎みの霊を与えてくださいました。」(II テモテ 1:7)

子どもを躱けるように、自分の思いを躱けるのです。

「すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。」(II コリント 10:5 後半)

OK。私たちはその節をよく知ってますね？ ポイントは何か？ これを見てください。木曜日の夜、最後にピアにこの話をしました。サタンがヨブの子どもたちを殺し、すべてを奪う前に、ヨブがサタンから警告を受けなかったのは興味深いと思いませんか？ サタンはただ実行しただけです。言い換えれば、サタンはヨブのところに行かず、まず言うこともしませんでした。つまり、ヨブの中に恐れを植え込み、「あなたは全てを失い、あなたの子どもを一人残らず殺す。」とは。違います。サタンは青信号になるとすぐに、それを実行する。私が言いたいのはこれです。サタンはあなたに恐れを置きます。どのようにサタンはそれをするのか？ 彼がするのは、、私はまず「なぜ？」という問いに答えるべきですね。なぜ彼はそれをするのか？ 彼には許可がないからです。彼が許可を持っていれば、あなたに警告することはないでしょう。彼はあなたに警告することなく、ただするだけでしょう。その恐れをあなたに植え付けるという事実、あなたにとって本当に励みになるはずですが。サタンがあなたに恐怖を置くということは、それをする許可を持っていないという意味だからです。許可があれば、すでに行っているはずだからです。サタンがあなたに警告を発すると思いますか？

私はこう締めくくりたいです。おそらく、ここにいる複数の誰か、あるいはオンラインでご覧の誰かで、これを聞く必要がある人がいるでしょう。あなたは恐怖で麻痺しているからです。私は特定の誰かに話しかけているのかもしれませんが。私は見ません。それはあなたと主との間のことです。主はあなたの心をご存知で、あなたが何に悩み、何を経験しているかを知っておられます。あなたは今、とても恐ろしい状況にいて、命からがらしがみつぎ、恐怖で麻痺しています。もし何かが起こったら？ どうなる？ もしも、、、？ それは主ではありません。それはすでに敗北した悪魔の言葉です。今日私が言ったことを何も聞かなかったとしても、これは聞いてほしいです。これは私のためでもあります。私自身に説教しているからです。私自身の心配性、恐れ、不安の傾向について、皆さんに大変率直にしてみました。私はそれが本当に得意です。実は心配性の博士号を持っています。私はプロです。ですから悪魔はそれを知っています。サタンはいつも私の目の前や思いにいろいろなものを置こうとします。サタンは私の思いを読めませんが、思いに色々考えを置きます。私が思いを律していたら、その考えを捕らえられません。私の思考が躓けられていなければ、サタンは自由に行動でき、疑いや恐れを置き始めます。

「あれが起きたら？これが起きたら？」ここでもまた、この偉大な神の人であり信仰の人である私は、「もしそれが起こったら？ いや、思ったよりひどい！」

違います。新生クリスチャンが悪魔を恐れるよりも、悪魔は新生クリスチャンを恐れています。会衆：アーメン！ サタンがノックして来ても、ドアに出ないでください。－（笑）－

サタンを家や夕食に招くのはやめて下さい。「何してるんだ？」 「いやいや。」 「ここで何してるんだ？」 「なぜ私を呼ぶのか？ 御前をブロックしている。」－（笑）－ なぜ御前は...？ いや、私が御前を恐れているとでもは！は！は！（笑）

最後に1つです。ところで、聖書によれば、私たちは本当にショックを受けると思います。イエスを見るとき、私たちはイエスを屠られた子羊として見ることになります。それは強烈ですが、どちらにも作用します。聖書には、悪魔を見るとき、次のように書かれているのをご存知でしょうか？ つまり、おそらく今、私がしているようなことをするでしょう。私たちは笑います。私たちはこんな感じで、、

「は～???あなたが？ あなたがそれをしたんですか？ このガリガリで、ちっぽけで、ちっちゃい。」ここでやめときます。－（笑）－

私たちはただ愕然とするでしょう。「あなたが諸国民を欺いたのか？」ところで、どうか、、

「ですから、兄弟たち、(私は神のあわれみによって) あなたがたに勧めます。」(ローマ12:1参照) 基本的に、お願いしますという意味です。赤くて、タイツをはいて、角があって、熊手を持ったキャラクターを頭の中から追い出してください。ー(笑)ー 彼を見ると衝撃を受けます。彼は昔も今も美しい創造物です。つまり、目を奪われ、魅了される、彼から目が離せません。逆に、私たちは私たちの目でイエスを屠られた子羊として見るのです。私たちはひるむでしょうか？ 私たちはうろたえるでしょうか？ これが結論です。もう終わります。ご忍耐ありがとうございます時計を見ないでください。あなたは何も恐れることはありません。敵にそれをさせないでください。彼は敗北した敵です。彼は、あなたが彼を恐れるよりも、あなたを恐れています。なぜか？ イエスがされたことのおかげです。主は根の根の根の根を破壊されました。

デイビッド、上がってきて下さい。皆さんご起立ください。祈りで締めくくります。ご忍耐感謝します。主よ、ありがとうございます。主よ、私はいつも説教の終わりに次のことを思い起こします。私は毎週、聴衆の前で話をする特権に恵まれています、その聴衆の多くは本当に傷つき、葛藤しています。すべて罪のせいです。主よ、私たちが今日、この教会に来たときは違う在り方で教会を去ることができるように祈ります。これは私たちにとって必要な注意喚起だからです。私たちは長い間、悪魔を野放しにしてきました。それはここで止めます。今すぐ止めます。イエス様、ありがとうございます。あなたはそれを解決されました。あなたはすでに彼を倒されました。あなたはすでに罰則を支払われました。あなたはすでに罪の力を完全に取り除かれました。もうすぐ、もうまもなく、ラッパの音が鳴り響く時、それです！ この全てのことが完了します。ですから、主よ、私たちはそのことを思い出す必要がありました。私たちの多くはそうではない人生を送っているからです。私たちは恐れや心配、問題や試練、苦難の嵐の下に沈んでいます。それをする必要はない時に。おお、私たちがこう言われませんように、「あなたの信仰はどこにあるのですか？ なぜ信仰がそんなに薄いのか？ なぜ疑ったのか？ わたしが対処しました。」主よ、ありがとうございます！ イエス様、私たちはあなたをとっても愛しています！ あなたが私たちのためになされたことについて、永遠で、あなたを賛美し、あなたに感謝し、あなたを永遠に礼拝することが待ちきれません。どうか、聖霊によって、それを私たちの心に留めさせて下さい。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7